

令和8年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	52	学校名(課程)	岡谷南 高等学校(全日制)
------	----	---------	---------------

1 全体目標

○ 将来、社会の一員としての自覚を持ち、仕事等を通じて社会に貢献することのできる人材の育成をはかる

2 現状・課題

- ・将来の自己実現に向けて、今後の進路についての具体的なイメージをいかに高めていくかを考えさせたい。
- ・就業体験や地域におけるボランティア活動等を通じて、学校生活以外から学び取ろうとする意欲を高めさせる。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。
学校で言い換えた力でもよい。

- a 人間関係を円滑に進め、他者との調和を図ることで、人の心を大切にする能力
- b 課題を見いだし、問題解決に向けて、結果を予測し修正しながら、周囲と協力していく能力
- c 社会生活や仕事に必要な一般的な基礎的な知識や今後の社会に必要な新しい知識を学ぼうとする意欲

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
① 自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 高校3年間の学校生活全体をキャリア教育の場と捉える。生徒にも意識させる。 イ キャリア教育の連続性を意識し、3年間を系統的なスタンスで指導を行う。
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 講演会や就業体験活動等は事前・事後指導、特に振り返りと身についた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。〈②, ③〉
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 年度末に評価(教員、生徒自身)を行い次年度の取組や指導に生かす。 オ 社会や世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。〈①〉
④ 卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	カ 知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。高校での学習内容と社会の関係性を意識させる。〈②, ④〉
⑤ 多様な分野で活躍する力を育む	キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。〈②, ③〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・思考力、判断力、表現力を育成するため、意見交換、課題の発見と解決、意見発表、グループ討議等双方向型、協働型の活動を導入 ・授業内容を、身近な事象と関連させながら、社会全体の情勢についての理解を深める
総合的な探究の時間	・「探究」という活動を理解し、その方法を身に付ける」(1年) ・「地域の防災について考え、自己についての理解を深める」(社会にどう貢献すべきか探究する)(2年) ・「進路を通じて将来の自分への展望を持つ」(就きたい職業を考え、進路実現に努める)(3年)
特別活動	・生き方・進路を考えるための講演会、小論文指導等(1,2,3年) ・1年 勤労観、就業観の形成を促すための先輩の講話、学習意識向上のための大学見学 ・2年 講演会、職業講座、科目選択 3年 科目選択、進路の研究と選択 将来設計、目標の確立
校外の体験活動(就業体験活動等)	・就業体験活動〈1,2,3年希望者〉、大学見学〈1年〉、大学説明会・オープンキャンパス参加(2年) ・看護師体験、福祉施設体験、ボランティア活動、オープンキャンパス参加(希望者)(1,2,3年) ・地域の活動への参加(希望者)(1,2,3年)
地域や産業界等との連携	・社会貢献するための方法を探究(総合的な探究の時間)(2年) ・生徒講演会、教員研修(1,2,3年)
評価	・生徒、教員アンケート、面接等で生徒の変容とキャリア教育の取組を評価し次年度の改善に反映 ・「生徒意識調査」の活用 ・キャリアポートフォリオ、キャリアノートの研究

中学校との連携 (指導の継続性)	・高校入学までのキャリア形成の振り返り(入学時) ・学校説明会で高校のキャリア教育を説明 ・市内の中学校との連携事業でのキャリア教育説明
校内の推進体制	・学習指導係(係長、各学年)を中心に各教科、各係、各学年との連携強化 ・全教職員で推進し、特に各学年HR担任は学習指導係と緊密に連携をとる
キャリア・パスポートの取組	・中学までの自らの学習状況やクラブ活動・課外活動の振り返りと自己評価(1学年) ・自身の学習成果・クラブ及びホームルーム活動・課外活動に関する自己評価(2学年) ・将来の進路をイメージしながら、学習状況や課外活動を振り返り、今後の進路選択に役立てる(3年)

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己について考える ○進路の研究、大学・職業について考 える ○テーマ『適性の発見』	○社会全体の在り方について考える ○生徒会・クラブで自分の役割を考える ○進路を研究し、選択する ○テーマ『社会の中で生きる自分探し』	○将来の具体的な目標を立てる ○就きたい職業を考え、それに向けて 進路実現をめざす ○テーマ『自己実現』
主 な 取 組	○高校生活への適応、仲間づくり ○こまかさ探究タイム ○ようこそ先輩 ○進路研究と大学見学及び職業研究	○総合的な探究の時間を通じ社会問題 や防災学習と関連させて自身の生き方 を考える ○オープンキャンパス 学校説明会	○進路実現までの具体的な目標設定、 計画及び課題の明確化 ○「進路を考え、実現のための手段を考 える」(総合的な探究の時間)
評 価	・生徒意識調査 ・教職員アンケート	・生徒意識調査 ・教職員アンケート	・生徒意識調査 ・教職員アンケート ・進路状況

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	4 学習オリエンテーション 5 地理総合 アジアの産業について 6 国語 職業等幅広く社会について考える 小論文指導 7 生物基礎 問題解決能力の育成	こまかさ探究タイム STEP1「探究学習とは何か」	進路希望調査 これまでのキャリア形成の振り返り 生徒会委員・学級の係分担の決定 7 2年次科目選択説明 文化祭・	5 新生活開始に際して面談 保護者懇談会(三者) ー 進路・生活全般について
	夏休み 国語 ジュニア新書 職業観の育成	課外活動の研究	▶▶▶ ボランティア活動、看護福祉体験希望者 オープンキャンパス	
	10 歴史総合 近現代の歴史概要 プレゼンテーション力を養う	大学説明会 STEP2「課題探究演習①」 STEP3「課題探究演習②」	生徒会新役員の選出	9 課外活動反省 文系・理系講座選択の面接
	12 数学「データの分析」作業力・解釈 力育成 春休み	11 諏訪工業メッセ参加 STEP4 1年間の探究学習の総括 小論文指導・2年次の展望	▶▶▶ 「文系・理系」講座の選択 11 大学見学 進路希望調査 「ようこそ先輩」 ボランティア活動、看護福祉体験希望者	保護者懇談会(三者) 生徒意識調査 個人面接、教職員アンケート 年間評価、次年度の計画
2 年	4 情報「リテラシー」分析、判断力育成 英語コミュニケーションⅡ 職業観・地域理解の育成(通年) 論理国語 小論文指導 5 公共 「社会参画とキャリアについて」 職業観・地域理解の育成	こまかさ探究タイム STEP5「修学旅行を通じ社会問題、 災害問題について考える」 オープンキャンパス・大学見学事前指導 文化祭関連(地域への呼びかけ)	4 看護師体験希望者等確認 文化祭・文化祭講演会 大学説明会	年度当初の進路指導・面接 保護者懇談会(三者) ー 進路・生活全般について
	夏休み 8 小論文指導 自己表現力育成		▶▶▶ ボランティア活動、看護福祉体験希望者、 オープンキャンパス・大学見学	
	9 地学基礎 問題解決能力の育成	修学旅行事前指導②(地域の比較 =社会問題・防災問題) 終了後 ⇒事後指導・課題研究	生徒会新役員の選出 3年次科目選択 修学旅行(東北) 12 修学旅行まとめ	二学期当初の進路面接 修学旅行の反省・総括 保護者懇談会(三者)
	12 国語・情報「レポートの書き方」 自己表現力育成			
	1 小論文指導 自己表現力育成 2 生物 問題解決能力の育成 春休み	STEP6 三年次への展望	進学研究⑥、職業研究⑥ ▶▶▶ ボランティア活動、看護福祉体験希望者	生徒意識調査 面接 ー進路・生活全般 教職員アンケート 年間評価、次年度の計画

3 年	4 論理国語 小論文指導 英語コミュニケーションⅢ 職業観・地域理解の育成(通年) 発展国語 自己ピーアール文の作成 7 政治経済 日本経済の構造	こまくさ探究タイム STEP7「自己実現」 志望理由書の完成 【3年次の進路計画】 進路ガイダンス ライフプラン作成(将来を見据えた職業 選択) 受験校 希望就職先の決定(企業見学)	4 看護師体験希望者確認 6 進学研究, 職業研究 7 企業見学 クラブ活動引き継ぎ <u>文化祭</u>	
	夏休み	大学研究・企業研究 ----->	職場見学、オープンキャンパス(希望者)	
	9 政治経済 消費者問題 11 論理国語 小論文演習	試験に向けての取り組み ----->	進学研究, 職業研究 労働出前講座(行政機関に依頼)	面談・進路決定者生活指導 生徒意識調査
		「卒業に向けて」「3年間を振り返って」 レポート作成	3 卒業式	教職員アンケート 進路状況まとめ、 3年間の評価